

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明								
<p>【教育総務課】</p> <p>高等学校建設費</p>	<p>4,293,327 (2,983,680)</p> <p>国 10,243</p> <p>繰 841,732</p> <p>起 2,457,700</p> <p>⊖ 983,652</p>	<p>1 耐震対策 3,301,594 (債務負担行為 平成27年度 2,219,880、平成28年度 1,293,822)</p> <p>旧耐震基準により建築された学校施設について、順次、耐震診断調査結果に基づき、耐震化工事を実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化工事 18校</li> <li>継続工事 9校 (彦根東・米原・東大津・石山・水口 長浜農業・愛知・日野・守山)</li> <li>新規工事 7校 (彦根工業・彦根翔陽・湖南農業・栗東 能登川・信楽・八日市南)</li> <li>設計 2校 (長浜・長浜北星)</li> </ul> <p>② 天井等落下防止対策 213,893 (債務負担行為 平成27年度 809,241)</p> <p>「学校施設における天井等落下防止対策のための手引」に基づき、落下防止対策を計画的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計 42校 (体育館・武道場)</li> <li>・工事 10校 (石山・長浜農業・水口・愛知・米原・堅田 瀬田工業・八幡工業・野洲・安曇川)</li> </ul> <p>3 施設改修 68,330</p> <p>学校施設の適切な維持のため、施設改修等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計・工事 4校</li> </ul> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">太陽光発電・蓄電池・体育館照明</td> <td style="padding: 0 10px;">大津商業</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">地下貯蔵タンク改修</td> <td style="padding: 0 10px;">伊香</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">非常用放送設備更新改修</td> <td style="padding: 0 10px;">守山</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">校舎屋上防水改修</td> <td style="padding: 0 10px;">安曇川</td> </tr> </table> <p>4 県立高等学校再編事業 709,510 (債務負担行為 平成27年度 1,931,258、平成28年度 732,790)</p> <p>平成24年12月策定の「魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて～滋賀県立高等学校再編実施計画～」に基づき、施設整備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備 5校</li> <li>新規工事 2校 (能登川・彦根翔陽)</li> <li>設計 3校 (長浜・長浜北・長浜北星 (仮設校舎建設含む))</li> </ul>	太陽光発電・蓄電池・体育館照明	大津商業	地下貯蔵タンク改修	伊香	非常用放送設備更新改修	守山	校舎屋上防水改修	安曇川
太陽光発電・蓄電池・体育館照明	大津商業									
地下貯蔵タンク改修	伊香									
非常用放送設備更新改修	守山									
校舎屋上防水改修	安曇川									

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説	明
特別支援学校建設費	433,965 (107,120)  国 103,945  起 240,300  ⊖ 89,720	1 児童生徒増加対策事業 (債務負担行為 平成27年度 553,581)  「知肢併置特別支援学校における児童生徒増加への対応策について」に基づき、施設整備を進める。 ・施設整備 2校 新規工事 2校(野洲養護・北大津養護)  2 施設改修  学校施設の適切な維持のため、施設改修を行う。 ・設計・工事 2校 ( プール用循環ろ過装置更新改修 八日市養護 北大津養護 )	417,325          16,640
市町教育委員会連絡調整費	30,000 (30,000)  ⊖ 30,000	㊦ 1 確かな学力を育む教育支援事業  学力向上等の教育課題に指導的立場で的確に対応できる教育職員を町が設置する際に必要な経費の一部を補助する。	30,000
【学校支援課】  教育行政企画調整費	1,835 (1,852)  ⊖ 1,835	1 滋賀の教育改革の推進事業  県立高等学校再編計画を着実に実施し、魅力と活力ある学校づくりを推進する。	1,264

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
特別支援教育振興費	25,370 (29,938)  国 5,796  ⊖ 19,574	<p>発達障害を含む障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習の困難を克服するための適切な指導と必要な支援を行う。</p> <p>1 医療的ケア児童生徒通学支援研究事業 824</p> <p>医療的ケアを必要とする児童生徒の通学にかかる保護者の送迎負担の軽減方策について実証研究を行う。</p> <p>2 高等学校巡回チーム派遣事業 1,885</p> <p>特別支援教育巡回チームの派遣により、高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への指導力の向上を図る。</p> <p>④重 3 「ともに学び、ともにめざす」滋賀の特別支援教育推進事業 5,289</p> <p>障害のある子とない子がともに学ぶモデル事業や、望ましい就学指導を進める研究会議、県民等を対象とした全体フォーラムを開催するとともに、インクルーシブ教育システムの構築をめざした滋賀のめざす特別支援教育のあり方について検討する。</p> <p>④ 4 やさしさをつなぐ学びのネットワーク推進事業 5,168</p> <p>インクルーシブ教育システムの構築をめざし、障害の状態に応じた指導方法や教材等にかかる「合理的配慮」について、特別支援学校と小中学校の連携によるモデル事業を実施する。</p>
特別支援学校設備整備費	41,495 (31,710)  ⊖ 41,495	<p>特別支援学校に必要な設備等を整備する。</p> <p>1 スクールバス整備 33,075</p> <p>知肢併置特別支援学校に配備しているスクールバスのうち2台を更新する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
特別支援学校教育振興費       国 財 繰 諸 ⊖	634,688 (602,732)  91,981 1,106 91 300 541,210	特別支援学校における教育振興のため、教科活動や職業教育など、各種事業を実施する。  ④重1 企業の知見を生かした就労支援強化事業 8,416  企業就労を進めるため、企業の知見を生かした作業学習の見直しと授業改善を行うとともに、働くことに必要な基礎的な態度や技能を身につけるための新たな仕組みづくりを進める。
【教職員課】  人事管理費    諸 ⊖	71,745 (72,416)  2,680 69,065	重1 県立学校における障害者雇用推進事業 20,800  県立学校における農場の施設管理等のため、障害者を雇用し、農業に関する知識・技術の取得を通じて就労の機会の拡大につなげる。 ・農業作業嘱託員 11人  2 指導力課題研修事業 6,190  指導が不適切な教員への対応を図るため、附属機関として「滋賀県指導不適切教諭等認定審査委員会」を設置し、専門的立場からの意見を求め、指導が不適切な教員としての認定等を行うとともに、当該教員の指導力向上のための指導や研修を実施する。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
教職員給与費	<p>114,632,820 (115,502,811)</p> <p>国 22,141,272</p> <p>使 308,689</p> <p>諸 6,672</p> <p>⊖ 92,176,187</p>	<p>基礎・基本の確実な定着を図り、児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、学力向上に取り組むため、きめ細かな指導を行うとともに、いじめから子どもを守るため、児童生徒一人ひとりしっかりと向き合い、いじめの未然防止や早期発見・対応ができる環境を準備するため、少人数学級編制や少人数指導の充実を図る。</p> <p>1 少人数学級編制の実施</p> <p>(1) 法律により義務づけられている小学校1年生に加え、小学校2年生、3年生（小学校3年生については複数指導との選択制）および中学校全学年（中学校2年生および3年生については少人数指導との選択制）における35人学級編制をすべての小中学校で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 教員 83人</li> <li>中学校 教員 171人</li> </ul> <p>(2) 個に応じたきめ細かな指導を図り、特色ある学校教育を進めるため、学校の実情に応じて、選択により小学校4年生から6年生の1つの学年において少人数学級編制が実施できるよう、必要な教員の配置を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 教員 87人</li> </ul> <p>② 2 学力向上への取組</p> <p>学習指導方法の工夫を図るため、市町の指定校に非常勤講師を配置し、学力を高めるための研究を行うとともに、その研究成果を授業改善の体制づくりに結びつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 38人（各市町2人（国語・算数））</li> </ul> <p>3 いじめ問題への適切な対応</p> <p>教員がいじめを早期に発見し、適切に対応できるよう、時間にとらわれず特別な指導に取り組むことができる教員の配置を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校 教員 12人</li> </ul>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明				
		教職員定数 <span style="float: right;">単位：人</span>				
			26年度(A)	25年度(B)	増減(A-B)	
		小 学 校	校長教諭等	4,753	4,737	16
			養護教諭	248	248	0
			栄養教諭・ 栄養職員	59	65	△ 6
			事務職員	265	262	3
			小計	5,325	5,312	13
		中 学 校	校長教諭等	2,817	2,811	6
			養護教諭	112	108	4
			栄養教諭・ 栄養職員	16	13	3
			事務職員	126	123	3
			小計	3,071	3,055	16
		高 等 学 校	校長教諭等	2,288	2,230	58
			上記以外の職員	440	447	△ 7
			小計	2,728	2,677	51
特 別 支 援 学 校	校長教諭等	1,097	1,092	5		
	上記以外の職員	167	163	4		
	小計	1,264	1,255	9		
		合計	12,388	12,299	89	

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
教職員福利厚生費	<p>150,605 (145,894)</p> <p>諸 200</p> <p>⊖ 150,405</p>	<p>教職員の生活の安定と福祉の向上に寄与するとともに、公務の能率的運営に資するため、福利厚生事業を実施する。</p> <p>1 教職員の安全衛生管理体制の推進 64,353</p> <p>教職員の安全および健康を確保する。</p> <p>2 公立学校共済組合運営 84,207</p> <p>共済制度を実施するため、法に規定された費用の負担をする。</p>
<p>【学校教育課】</p> <p>生徒指導対策費</p>	<p>249,204 (239,334)</p> <p>国 47,706</p> <p>⊖ 201,498</p>	<p>いじめ、不登校、暴力行為等の生徒指導上の諸問題への対策として、児童生徒や保護者に対する相談・指導体制を充実する。</p> <p>1 スクールカウンセラー等活用事業 69,934</p> <p>スクールカウンセラーの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校：100校</li> <li>・ 県立学校：重点校10校、その他35校</li> </ul> <p><b>重</b>2 いじめから子どもを守るための相談活動推進事業 62,941</p> <p>いじめの未然防止、早期発見、早期対応を促進するため、スクールカウンセラーを追加派遣する。また、モデル校を選定し、スクールカウンセラーを常駐化し、成果を検証する。</p> <p><b>重</b>3 スクールソーシャルワーカー活用事業 33,409</p> <p>社会福祉等の専門的な知識を有するスクールソーシャルワーカーをいじめや不登校の課題の大きい小学校へ配置するとともに、教職員に福祉的な視点を定着させる。</p> <p><b>重</b>4 生徒指導緊急特別対応事業 18,083</p> <p>警察OBと教員OBをチームとして学校へ派遣し、警察等司法に加え、児童相談所、医療機関等と連携して、困難な問題の解決を図る。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(生徒指導対策費)		<p>重 5 生徒指導緊急サポート事業 4,910</p> <p>子どもの命に関わる重大事案が発生した場合、専門的知見による助言・支援を行い、警察等司法に加え、福祉や医療機関とも一体となった危機対応を実施する。</p>
		<p>重 6 いじめで悩む子ども支援事業 41,866</p> <p>「相談支援員」を各地域に配置し、子どもや保護者からの相談対応を行うとともに、解決に向けての支援を図る。 また、市町との連携が必要な場合には「相談調整員」が連携を図るとともに、定期的な情報交換を行う。</p>
		<p>重 7 滋賀県「絆をつむぐ学校づくり」研究事業 260</p> <p>いじめ問題の対応として、児童生徒が生徒会活動等により「自己有用感」や絆を感じることができる学校づくりを推進するとともに、校内組織の役割分担や連携について具体的なモデルを開発し、その成果の普及を図る。</p>
		<p>重 8 不登校対策調査研究会議 450</p> <p>不登校対策として、庁内関係部局による調査研究会議を立ち上げ、有識者の意見をいただきながら、不登校の状況分析や課題の抽出を行い、不登校に対する有効な対応策を見だし、成果の普及啓発を図る。</p>
		<p>重 9 (仮称) 滋賀県いじめ問題対策連絡協議会 524</p> <p>いじめ防止対策推進法第14条第1項の規定に基づき、関係機関との連携を図るため、「(仮称) 滋賀県いじめ問題対策連絡協議会」を設置する。</p> <p>重 10 (仮称) 滋賀県立学校いじめ問題調査委員会 6,874</p> <p>いじめ防止対策推進法第14条第3項の規定に基づき、「(仮称) 滋賀県立学校いじめ問題調査委員会」を設置し、県立学校におけるいじめ事案について調査を実施する等、その適正な運営を行う。</p>



事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明	明																		
高等学校奨学資金貸付事業費	455,898 (328,636)	経済的理由により高等学校等への修学が困難な者に対して、奨学金を貸与する。また、給付金の支給により低所得世帯の教育費負担の軽減を図る。																			
国	44,296																				
繰	38,599	経 1 奨学資金貸付金	321,724																		
諸	239,511																				
⊖	133,492																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>自宅通学者</th> <th>自宅外通学者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">奨学金 (月額)</td> <td>国公立</td> <td>18,000円</td> <td>23,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000円</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入学資金 (一時金)</td> <td>国公立</td> <td colspan="2">50,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td colspan="2">50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり</td> </tr> </tbody> </table>			自宅通学者	自宅外通学者	奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円	私立	30,000円	35,000円	入学資金 (一時金)	国公立	50,000円		私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり		
		自宅通学者	自宅外通学者																		
奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円																		
	私立	30,000円	35,000円																		
入学資金 (一時金)	国公立	50,000円																			
	私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり																			
		Ⓢ 2 奨学のための給付金	134,174																		
		国による高校授業料無償制等の見直しに併せて、低所得世帯に属する国公立高等学校等の生徒について教育費負担を軽減するため、一定額を給付する。																			

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
教科等指導対策費	41,926 (27,071)	<p>子どもに確かな学力を身につけさせるための授業改善の推進や、社会性や思いやりの心を育成するため、道徳教育や体験活動等の推進を図る。</p> <p>1 中学生チャレンジウィーク事業 936</p> <p>子どもたちの職業観・勤労観を育むため、県立中学生に対し5日以上の職場体験を実施する。また、児童生徒が学習の成果を蓄積し、自分の成長を振り返るための「夢の手帖」を作成し、発達段階に応じた系統的なキャリア教育を推進する。</p> <p>⑧ 2 しが道徳教育推進事業 552</p> <p>本県の創意あふれる道徳教育を推進するため、県内に研究指定校を設けて実践的な研究に取り組み、研究成果を普及するとともに、道徳教育リーダーの研修会や「道徳の時間ガイド」の作成を行い、教員の指導力向上を図る。</p> <p>3 学力向上アプローチ事業 1,760</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果を基に、具体的な領域・単元ごとの系統的な授業改善の方法を研究し、学力向上へのアプローチを図る。</p> <p>⑧ ④ 4 子どもの学び改善プロジェクト 15,163</p> <p>本県の小中学校児童生徒の学力向上を図るため、評価問題の活用による授業改善、言語活動の基盤づくりから授業改善に取り組む実践研究、放課後を活用した補充学習の体制づくりの支援を推進する。</p> <p>⑧ 5 土曜授業推進事業 3,624</p> <p>必要に応じて土曜日等に授業を実施することが可能とされたことから、土曜授業についてのカリキュラムの開発や外部人材の活用等についての調査研究を行う。</p> <p>⑧ 6 学校いきいき体験活動プロジェクト 800</p> <p>話し合い活動と体験活動の充実をとおして望ましい人間関係を築く実践研究を行い、その成果をいじめの未然防止に生かすとともに、学力の向上、自己有用感の育成につなげる。</p>
国	12,680	
繰	902	
⊖	28,344	

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
環境教育推進費	7,498 (5,713)  国 3,000  ⊖ 4,498	① しが環境教育リーディング事業 4,385  教員、専門家等による研究推進委員会を組織して、人と環境とのよりよい関係を築く新たな環境教育の在り方についての研究実践を行う。
国際教育推進費	180,039 (125,621)  国 79,109  ⊖ 100,930	急速に進展する国際化に対応できる人材を育成するため、小学校における外国語活動、中・高等学校の系統的な英語教育等を進める。  1 語学指導外国青年招致 89,445  外国語指導助手（ALT：18人）を高等学校等に配置し、生徒の外国語理解・コミュニケーション能力の向上を図る。  ② スーパーグローバルハイスクール事業 57,338  スーパーグローバルハイスクールを指定し、語学力とともに、幅広い教養、問題解決力等の国際的素養を身につけ、将来的に人文科学・社会科学分野で国際的に活躍できるグローバルリーダーを高等学校段階から育成する。  ③ 英語教員スキルアップ事業 11,055  グローバル化に対応できる教員の育成のため、小・中・高の英語教育推進リーダーを育成する。 また、推進リーダーを講師として教員対象の英語の指導法の研究実践を行うとともに、児童生徒対象の交流会等を実施し、生徒の英語力と学習意欲の向上を図る。  4 外国語能力強化地域形成事業 4,124  生徒の英語力の検証をとおして指導改善を図るとともに、英語の使用機会の拡充や、モチベーションの一層の向上を図る等の優れた取組を行う英語力強化地域を形成し、生徒の英語力の向上を目指す。さらに、小学校英語の教科化に向けての研究を行う。  ⑤ 外国人児童生徒いきいきサポート支援事業 7,568  日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在籍する公立小・中学校に母語が話せる支援員を派遣し、教育相談や保護者との面談、学習支援等をとおして学校生活への適応や効果的な指導の充実を図る。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
高等学校教育振興費  国 繰 諸 ⊖	175,867 (196,932)  12,251  3,999  4,987  154,630	<p>高等学校における教育振興のため各種事業を実施する。</p> <p>① 確かな自己実現支援事業 15,000</p> <p>学究的な高まり、深まりを求め、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、自己実現への確かな手応えを実感させるとともに、各地域で本事業の指定校が、魅力と活力ある学校づくりをさらに推進していく。</p> <p>② 県立高等学校「21世紀型学力育成」プロジェクト 4,050</p> <p>生徒が主体的に学び、思考力・判断力・表現力等をつけるために、評価問題の作成や、生徒の英語力およびバカロレアに関する調査・研究を行う。また、学力向上においてリーダーとなる教員の養成を行う。</p> <p>③ 県立高等学校キャリア形成支援事業 3,999</p> <p>社会人基礎力の育成や就業体験を効果的に活用しながらキャリア教育の実践研究に取り組み、社会的・職業的自立を目指す効果的なカリキュラムの研究・開発を行う。</p> <p>4 職の担い手育成事業 2,325</p> <p>職の担い手育成推進校を指定し、地域産業と連携した実践的な職業教育をより一層推進し、望ましい勤労観・職業観を醸成する。</p>
高等学校特別活動推進費  国 ⊖	72,369 (20,456)  920  71,449	<p>高等学校における特別活動の推進を図るため、文化部活動等を支援する。</p> <p>1 高等学校文化祭事業 72,369</p> <p>平成27年夏に開催される第39回全国高等学校総合文化祭滋賀大会に向けた諸準備を行う実行委員会に対して補助を行い、次代を担う高校生が自らの手で大会を創り上げるとともに、文化部活動をさらに充実させることにより、心豊かな人間性の育成と文化芸術活動の振興・普及を図る。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【総合教育センター】 研究調査費</p>	<p>8,200 (6,837)</p> <p>⊖ 8,200</p>	<p>教育的諸問題の解決への基礎資料を提供するため、教科教育、教育相談の実態調査および実証的調査研究を行う。</p> <p>1 特別支援教育支援事業 6,033</p> <p>発達障害等のある子どもの教育相談業務を行うとともに、専門的知識と技能を持った人材の養成および高等学校における特別支援教育の研修を実施する。</p> <p>また、特別な教育的ニーズのある幼児、児童、生徒の実態把握に必要な検査器具の貸し出しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育相談</li> <li>・アセスメント研修</li> <li>・特別支援教育推進リーダー研修</li> <li>・高等学校における特別支援教育研修 (初任研、10年研、新任教頭)</li> <li>・発達検査器具の購入</li> </ul>
<p>講習会費</p>	<p>735 (1,151)</p> <p>⊖ 735</p>	<p>現代的な課題や新学習指導要領、学力向上に対応した研修・講座を実施し、教職員の指導力向上を図る。</p> <p>1 指導力向上研修 243</p> <p>教職員を対象に授業づくりや学級づくり等を目的とした実践的な研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導力向上のための講座 3 講座(4日)</li> <li>・現代的課題に対応するための講座 4 講座(5日)</li> </ul>
<p>教職員研修費</p>	<p>11,543 (9,846)</p> <p>⊖ 11,543</p>	<p>教職員の資質向上を図るため、経験・職務に応じた研修を行う。</p> <p>1 マネジメント研修 734</p> <p>学校が課題解決に向けて組織的、機動的に対応できる組織体となるため、管理職等の経営管理能力の育成と中堅教員のリーダーシップ養成を図る研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：管理職(小・中・県立学校) 280人</li> <li>中堅教員(小・中・県立学校) 80人</li> <li>主幹教諭(小・中・県立学校) 50人</li> </ul> <p>② 教科主任指導力向上研修 441</p> <p>教科主任としての力量を高め、教科指導力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：小・中学校 756人</li> </ul>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【びわ湖フローティングスクール】</p> <p>活動費</p>	<p>36,121 (36,517)</p> <p>⊖ 36,121</p>	<p>びわ湖フローティングスクールの教育・学習効果を高めるための環境整備を行う。</p> <p>1 児童学習航海（1泊2日） 94航海</p> <p>2 「湖の子」体験航海（1日） 2航海</p> <p>3 特別航海（1日） 1航海</p>
<p>学習船建造事業費</p>	<p>38,114 (-)</p> <p>⊖ 38,114</p>	<p>④ 1 学習船建造事業 38,114</p> <p>学習船「うみのこ」新船建造にかかる設計を行う。</p>
<p>【人権教育課】</p> <p>人権教育推進指導事業費</p>	<p>12,066 (11,824)</p> <p>国 1,800</p> <p>⊖ 10,266</p>	<p>学校教育等における人権教育を推進するため、調査・研究や指導者の養成を行うとともに、いじめや差別を許さない学校づくりに取り組む。また、地域社会が連携して人権教育を推進するための体制整備を行うとともに、重層的な課題のある児童生徒に対する地域ぐるみの取組を推進する。</p> <p>1 人権教育パワーアップ事業 1,545</p> <p>児童・生徒の人権意識の現状を踏まえた学習プログラムづくりや教職員の指導力向上に取り組むとともに、いじめや差別を許さない学校づくりを推進することにより、本県の人権教育の一層の充実を図る。</p> <p>2 子ども輝き人権教育推進事業 2,839</p> <p>教育上重層的な課題があり、特に配慮が必要と認められる中学校区において、学校や家庭・地域・関係機関等が連携・協働し、子どもの人権が大切にされる環境を整備する。</p> <p>3 人権教育研究推進事業 1,800</p> <p>学校における人権教育に関する指導方法の改善および充実に資することを目的として、モデル校を指定し、実践的な研究を行う。</p> <p>学校、家庭、地域社会が一体となった教育上の総合的な取組を県教育委員会との連携・協力の下で推進し、基本的な人権尊重の精神を高め、一人一人を大切に教育の充実に資することを目的として、実践的な研究を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
人権教育総合推進費	<p>53,482 (54,167)</p> <p>⊖ 53,482</p>	<p>社会教育における人権教育を推進するための体制の整備・充実を図るとともに、市町等における人権教育諸活動の促進を図る。</p> <p>1 人権教育指導者研修会 117</p> <p>人権学習を推進するための地域におけるコーディネーターおよび社会教育関係団体の指導者を養成する。</p> <p>2 (公財) 滋賀県人権センター事業推進 10,551</p> <p>滋賀県人権センターの運営費および事業推進費を補助する。</p> <p>3 人権教育研究事業推進 7,206</p> <p>滋賀県人権教育研究会の運営費および事業推進費を補助する。</p> <p>4 地域総合センター職員設置費補助 27,552</p> <p>市町が地域総合センターに設置する教育担当職員の給与費を補助する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【生涯学習課】</p> <p>生涯学習推進事業費</p>	<p>9,098 (9,796)</p> <p>諸 250</p> <p>⊖ 8,848</p>	<p>1 淡海生涯カレッジの開設 928</p> <p>大学や高等学校、公民館等の学習機関が相互に連携・協力を図り、県民に広域的で体系的な学習機会を提供する。</p>
<p>市町等人権教育推進事業費</p>	<p>6,882 (9,430)</p> <p>⊖ 6,882</p>	<p>すべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指し、地域ぐるみで人権教育の充実に努める。</p> <p>1 市町人権教育推進協議会等事業補助 5,512</p> <p>市町人権教育推進協議会等の事業および人権教育推進員等の設置に対し補助を行う。</p> <p>2 県人権教育推進協議会事業補助 900</p> <p>人権意識の高揚と人権教育の推進を図るため、県人権教育推進協議会に対して補助を行う。</p>
<p>子ども読書活動推進事業費</p>	<p>1,858 (1,833)</p> <p>⊖ 1,858</p>	<p>1 子ども読書活動推進事業 1,858</p> <p>子ども読書活動に関する啓発や、学習講座の開催等により、子ども読書活動の推進を図る。</p> <p><b>重</b>(1) 高校生読書率向上プロジェクト 109</p> <p>高校生による「ビブリアバトル」の普及・啓発を行い、高校生の読書率の向上を図る。</p>



事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
子どもを育む地域・ 家庭教育力推進事業 費	44,917 (46,612)  国 21,332  諸 300  ⊖ 23,285	<p>1 家庭教育力の向上 776</p> <p>子育て学習講習会等の実施、家庭教育協力企業協定制度を活用した企業における子育て環境づくり、「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動の推進等により、家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>2 子どもの体験活動の機会と場の充実 3,352</p> <p>公民館などを活用し地域ぐるみで子どもの集団宿泊体験活動を進める「通学合宿」の推進など、子どもの体験活動の機会と場の充実に向けた環境づくりを進める。</p> <p>3 自然体験活動指導者養成事業 657</p> <p>学校や各種事業などで子どもの人間関係づくりを効果的に支援できる自然体験活動指導者の養成を行う。</p> <p>4 「地域の力を学校へ」推進事業 3,408</p> <p>「しが学校支援センター」を設置し、学校支援ディレクターの配置や、学校と地域を結ぶコーディネーター担当者新任研修等により、豊富な知識や経験を持つ地域の様々な人々や企業・団体・NPO等が、学校を支援する仕組みづくりを推進する。</p> <p>5 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業 28,017</p> <p>地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する「学校支援地域本部」をはじめ、子どもの安心・安全な居場所づくりのための「放課後子ども教室」や家庭教育に関する学習機会の提供などを行う「家庭教育支援」、地域の多様な経験を持つ人材・企業の協力を得て行う「土曜日の教育支援」など、教育支援体制等を構築する市町の事業に対して補助を行う。</p> <p><b>重</b>6 地域住民と連携したいじめ対応支援事業 8,707</p> <p>学校支援地域本部事業の制度を活用し、いじめ対応の視点をもって、地域住民と学校との連携を行う市町に対して支援する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【図書館】</p> <p>図書資料整備費</p>	<p>60,374 (59,109)</p> <p>⊖ 60,374</p>	<p>図書資料の収集・整備に努め、県民の資料情報センターとしての役割を果たしていく。</p> <p>1 図書資料等購入事業 55,489</p> <p>⑧ 2 学校読書支援事業 2,500</p> <p>児童・生徒の読書力の向上に役立つ図書を整備し、市町立図書館をとおして小中学校での読書活動を支援する。</p>
<p>【スポーツ健康課】</p> <p>学校保健安全指導費</p>	<p>167,928 (178,600)</p> <p>国 7,363</p> <p>繰 60</p> <p>諸 54,107</p> <p>⊖ 106,398</p>	<p>児童生徒が健康で安全な生活を送ることができるよう、県立学校の児童生徒の健康管理や健康課題に対する指導、さらにはがん教育や防災教育の充実を図るとともに、地域ぐるみで取り組む学校安全体制の整備を推進する。</p> <p>1 健康管理強化事業 156,440</p> <p>県立中学校を始め、県立高等学校・特別支援学校の児童生徒の健康診断や学校環境衛生検査等を行う。</p> <p>2 学校安全体制整備推進事業 4,427</p> <p>市町が家庭や地域の関係機関・団体と連携し、地域社会全体で学校安全に取り組む体制整備の経費に対して補助を行う。</p> <p>⑧ 3 がんの教育総合支援事業 537</p> <p>がん教育の推進に向け、教員を対象に最新の医療情報に関する研修会を実施するとともに、がん教育の教育資材を作成する。</p> <p>4 学校保健課題解決支援事業 836</p> <p>メンタルヘルス等の心身の健康課題を解決するため、学校への専門医派遣や精神科医による相談、研修会の開催等の取組を行う。</p> <p>重 5 防災教育支援事業 1,232</p> <p>防災教育の推進体制整備に向け、教職員に防災の専門的な知識や技術を普及する取組を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
学校体育指導費	68,995 (60,449)  国 5,936  ⊖ 63,059	<p>児童生徒の体力向上に努めるとともに心身の健全な発達を促し、生涯にわたって運動やスポーツを主体的に実践していくための基礎を培う学校体育・スポーツの充実を図る。</p> <p>⊕ 1 平成27年度インターハイ開催準備補助金 7,299</p> <p>平成27年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)のうち3競技(ソフトボール・登山・卓球)の本県開催に向けて準備に係る経費を支援するため、同大会実行委員会に対し補助を行う。</p> <p>⊕<b>重</b> 2 子どもの体力向上に向けた実践的取組事業 3,944</p> <p>小学生の体力向上に向けて、各市町に拠点となる小学校を設定し、先進県での取組を参考に10分間運動の導入等、体力向上に向けた実践的な取組を行う。</p>
スポーツ振興事業費	9,557 (8,329)  ⊖ 9,557	<p>子どもから高齢者まで生涯を通じて、主体的にスポーツに親しめるよう、地域のスポーツ推進を図る。</p> <p>1 生涯スポーツ振興事業 1,377</p> <p>地域の総合型スポーツクラブを支援するため、広域スポーツクラブの運営や事業の支援を行う。</p> <p>⊕ 2 全国高校野球大会出場激励事業 1,000</p> <p>春と夏に行われる全国高校野球大会に本県を代表して出場する高等学校に対して、激励を行う。</p>
国民体育大会費	102,244 (48,884)  ⊖ 102,244	<p>本県の競技スポーツ推進のため、国民体育大会に選手を派遣するとともに、第69回国民体育大会近畿ブロック大会の開催を支援する。</p> <p>1 国民体育大会派遣費補助金 45,283</p> <p>本県を代表し、第69回国民体育大会(長崎県等)に参加する選手や監督の派遣経費に対し補助を行う。</p> <p>⊕ 2 第69回国民体育大会近畿ブロック大会開催補助金 46,929</p> <p>平成26年度に本県で開催する第69回国民体育大会の近畿ブロック大会に係る経費を支援するため、同大会滋賀県実行委員会に対し補助を行う。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
国民体育大会開催準備事業費	87,134 (12,000)  ⊖ 87,134	<p>平成36年に本県で開催する第79回国民体育大会に向けて、必要な準備を行う。</p> <p>① 第79回国民体育大会滋賀県開催準備委員会負担金 11,500 開催準備を円滑に進めるため、必要な負担金の拠出を行う。</p> <p>② 国体主会場整備事業 73,500 国体主会場の整備に向け、所要の調査や測量、公園基本構想・基本計画の策定を行う。</p>
国民体育大会等関連費用積立事業費	101,150 (1,311)  財 1,150  ⊖ 100,000	<p>平成36年に本県で開催する第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会を見据え、基金を設置する。</p> <p>① (仮称)国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金積立金 101,150 両大会の円滑な運営に資するとともに、両大会に向けたスポーツ施設の整備および競技水準の向上を図るため、現行のスポーツ施設整備基金を改め基金を設置し、新たな積立を行う。</p>
団体育成・各種大会負担費	37,798 (38,298)  ⊖ 37,798	<p>各種スポーツ団体の安定的な団体運営と事業実施を支援するとともに、本県のスポーツ推進に寄与する各種競技大会を行う。</p> <p>1 びわ湖毎日マラソン大会開催 30,000 第70回びわ湖毎日マラソン大会(びわ湖レイクサイドマラソン大会開催含む)の開催経費の一部を負担する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
競技力向上対策事業費	20,234 (9,234)  ⊖ 20,234	<p>平成36年に本県で開催する第79回国民体育大会を視野に入れ、次代を担うジュニア選手の育成・強化に重点を置いた競技者や指導者の育成を図る。</p> <p>1 競技力向上対策費補助金 9,000</p> <p>本県を代表する選手の育成に必要な強化合宿費や県外遠征費等の経費に対し補助を行う。</p> <p>② 次世代アスリート発掘育成プロジェクト 8,000</p> <p>将来活躍できる「次世代アスリート」の創出に向け県内の優れた資質を有する子どもたちを早期に見出し、各種育成プログラムを実施する。</p> <p>③ 女性アスリート・指導者支援事業 2,000</p> <p>女性アスリート・指導者のネットワークづくりを支援するなどスポーツ界を担う女性の育成を図る。</p> <p>④ 競技力向上基本計画策定・推進体制構築事業 1,000</p> <p>本県スポーツ選手の育成や競技力向上に向けたサポート体制の整備を計画的かつ効果的に実施するための基本計画を策定するとともに、当該計画の推進体制の構築を行う。</p>
スポーツ推進計画促進事業費	1,650 (3,328)  ⊖ 1,650	<p>滋賀県スポーツ推進計画の着実な推進を図るため、地域共通の課題解決に総合型地域スポーツクラブの活用を図ることや、幼児期の運動・遊びの促進に向けた取組等を行う。</p> <p>① 地域コミュニティ促進事業 512</p> <p>地域共通の課題である幼児期からの運動遊びや子育て世代の女性のスポーツ参加を促進するため、総合型スポーツクラブを活用して運動プログラムを開発し、普及する。</p>
社会体育施設整備費	12,776 (51,440)  ⊖ 12,776	<p>平成36年に本県で開催する第79回国民体育大会に向けて、県立社会体育施設の最適な施設管理について検証する。</p> <p>① 県立社会体育施設の最適な管理についての調査研究委託 12,776</p> <p>県立社会体育施設の課題を明らかにし、今後必要となる施設整備の基礎資料を作成する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【文化財保護課】</p> <p>文化財活用促進費</p>	<p>15,430 (27,187)</p> <p>国 5,640</p> <p>繰 3,500</p> <p>⊖ 6,290</p>	<p>県内各地に所在する文化財を活用することにより、地域づくりへの貢献や滋賀の歴史・文化の県内外への積極的な発信を図る。</p> <p>重1 近江水と大地の遺産魅力発信事業 2,000</p> <p>琵琶湖と水にまつわる文化遺産「近江水の宝」や、大地に刻まれた遺跡の魅力を発信し、観光素材となるよう講座や探訪などを行う。</p> <p>重2 近江の仏教美術等魅力発信・再生支援事業 500</p> <p>仏教美術等をはじめとする近江の誇る社寺建築等の価値や魅力を県内外に発信し、観光振興や地域活性化につなげるため、所有者等が実施する取組に対して支援する。</p> <p>重3 「千年の美つたえびと」づくり事業 2,770</p> <p>地域のリーダーとして文化財を守り、また県内の博物館や美術館と地域を結び、来訪者に魅力を伝える人材として、「千年の美つたえびと」を養成する。</p> <p>重4 第56回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会滋賀県大会 6,660</p> <p>ブロック内で伝承されている優れた民俗芸能を招聘し、公開することで、民俗文化財の魅力に触れてもらうとともに、滋賀県の民俗文化を発信する。</p>
<p>遺跡保存整備事業費</p>	<p>357,300 (266,698)</p> <p>国 10,500</p> <p>諸 338,870</p> <p>⊖ 7,930</p>	<p>地域開発と遺跡保存との調和を図りつつ、文化遺産の保存対策を講ずる。</p> <p>1 公共事業関連緊急発掘調査 338,870</p> <p>公共事業の円滑な推進を図るため、国土交通省等からの受託による公共事業関連発掘調査等を行う。</p> <p>2 史跡公有化 10,000</p> <p>地域の歴史にとって重要な価値を持つ史跡を、適切に保存し、整備活用を図り、次世代に継承していくため公有地化を図る。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
文化財調査事業費	4,326 (912)  国 2,333  ⊖ 1,993	県内に所在する文化財の実態を調査し、保存策の検討や記録保存を行う。  ④ 1 世界遺産延暦寺根本中堂他保存修理事業調査事業 415  世界遺産延暦寺根本中堂と廻廊の屋根葺替、塗装修理等の大規模修理工事を平成28年度から実施することを目標に、その準備として、調査および関係機関との協議を行う。
文化財保護助成費	366,252 (389,442)  財 238  繰 98,769  諸 135,642  ⊖ 131,603	文化財の保存と活用を図るため、文化財の所有者等が行う保存修理等の事業に対して助成を行う。  1 指定文化財保存修理等補助事業 98,969  (1) 国指定文化財保存修理等補助金 19,289 国指定文化財の所有者等が実施する保存修理事業等に要する経費の一部を助成する。  (2) 県指定文化財保存修理等補助金 79,680 県指定文化財の所有者等が実施する保存修理事業等に要する経費の一部を助成する。  2 滋賀県文化財保存基金積立事業 100,238  計画的に、適切な時期に保存修理等を実施するため、基金に積み立てを行う。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
琵琶湖文化館管理運営費	<p>44,792 (33,429)</p> <p>繰 9,900</p> <p>⊖ 34,892</p>	<p>休館中の琵琶湖文化館に収蔵している国宝・重要文化財を含む収蔵品の安全かつ良好な管理および活用を行う。</p> <p>④1 新生美術館への琵琶湖文化館機能移転準備事業 10,607</p> <p>琵琶湖文化館が寄託等により保管している国宝・重要文化財を含む約7,800点の収蔵品を、新生美術館に円滑に移転することができるよう収蔵品の整理調査等を進める。</p> <p>④2 「受け継がれゆく いにしえの美」琵琶湖文化館所蔵品再生展示事業 9,900</p> <p>マザーレイク滋賀応援基金を充当して、琵琶湖文化館が所蔵している文化財のうち、県に寄付された損傷が著しい作品を修理再生し、県内の美術館等で一般に展示公開する。</p>
特別史跡安土城跡調査・整備事業費	<p>2,838 (2,815)</p> <p>国 1,000</p> <p>⊖ 1,838</p>	<p>特別史跡安土城跡の新たな保存管理計画の策定や維持管理、保存を行う。</p> <p>④1 特別史跡安土城跡・新保存管理計画策定事業 2,000</p> <p>特別史跡安土城跡を適切に保存し、あわせて観光資源としても有効に活用するため、将来にわたる適正な保存活用の指針となる「新保存管理計画」を策定する。</p>